

令和7年度 君津市健康づくり推進協議会会議録

1 日 時 令和7年7月4日（金）午前10時から

2 場 所 君津市保健福祉センター 集団指導室

3 公開又は非公開の別 公開 ・ 非公開

4 出席委員 14人

永寫嘉嗣（会長）	潤米壽美子（副会長）	林正弘委員
加藤友己委員	齊藤卯女子委員	中村美月委員
齊藤敦委員	江澤利明委員	江尻節子委員
佐藤広司委員	池田健司委員	佐野恵美子委員
植田庸介委員	嶋野真奈美委員	

欠席委員 5人

加藤君江委員	田浦定一委員	日高啓涼委員
平川茉以子委員	高橋清和委員	

5 出席職員 8人

事務局

中村健康スポーツ課長	杉谷健康スポーツ課副課長	根本健康都市推進室長
長谷川管理調整係長	平野副総括管理栄養士	加藤副総括保健師
武田副総括管理栄養士	原田主任保健師	

6 傍聴人 1人

7 議事

（司会 事務局 中村課長）

はじめに、本会議の定足数の報告をいたします。本日まで出席いただきました委員数でございますが、全19名のうち14名の方にご出席いただいております。定足数を委員の過半数とする、君津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立していることをご報告させていただきます。

また、本日の会議につきましては、君津市審議会等の会議の公開に関する規則によりまして、会議録を作成し、公開することをあらかじめご了解ください。
本日、傍聴人がおりますので、ここで入場させていただきます。

(司会 事務局 中村課長)

それでは、これより議事に移らせていただきます。

君津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により、永寫会長に議長をお願いいたします。

議長 (永寫会長)

規定により、議長を務めさせていただきます。円滑な議事の進行にご協力をお願いします。

それでは、議題(1)「第3次健康きみつ21 取組状況について」とそれに伴う議題(2)「第3次健康きみつ21 各目標項目の進捗状況について」をまとめて、重点施策を中心に事務局より説明をお願いします。

(事務局 根本室長)

それでは、第3次健康きみつ21について、概要を根本よりご説明します。
着座にて失礼します。資料は概要版(A4のカラー刷りのもの)をご覧ください。

まず、計画の趣旨です。近年、高齢化の進展や生活習慣の変化により、がん・糖尿病などの生活習慣病の割合が増加し、医療費の約3割を占めておりますが、長寿社会の中でも、市民誰もが健康に生活できることはとても重要です。そのための予防対策や健康づくりの取組みをさらに進めていくために本計画は策定されています。

前期計画である第2次健康きみつ21が令和5年度に終了となるにあたり、令和5年度に第2次計画の評価と課題の抽出を行うとともに、第3次計画を策定しました。本日は第3次計画に基づいた初めての実績報告の機会になります。この第3次計画は令和6年度から令和17年度までの長期計画となっています。この期間は上位計画である国の健康日本21に準じた期間であり、令和12年度に中間評価を行う予定としています。

概要版左下の水色の部分にあります通り、健康きみつ21には健康づくりと関連のある「食育推進計画」と「自殺対策計画」を内包し、施策を一体的に推進していくこととしています。

基本理念は、概要版右上にありますとおり「市民一人ひとりの健康づくりの取り組みと社会環境の整備・質の向上」を基本理念とし、健康寿命の延伸。つま

り病気を防いで市民が健康で元気に暮らせるまちを目標としています。

君津市の現状を少しご紹介します。

人口構成は他市町と同様に高齢化が進んでいます。第2次計画開始の平成25年の高齢化率は25.1%で4人に1人が65歳以上でしたが、その後年々進行し、令和6年には33.9%3人に1人が65歳以上となりました。

概要版中央列に現状が示されています。(1) 死亡の状況としましては、がんによる死亡は若干減少傾向にあるものの依然一番多く、死因の約1/4を占めています。

また医療費は国保医療費で入院と外来を合わせたものの内訳を見ると、がんや循環器病が上位を占め、さらに細かい分類で見えていくと人工透析、糖尿病、関節疾患や高血圧が多くなっています。

これらの状況を踏まえ、第3次計画においては、概要版中央の列の下半分にあります次の4つの課題について、重点的に取組んでいくこととしました。4つの課題は、がん、生活習慣病の発症予防と重症化予防、適切な食事及び運動の習慣化、自殺対策になります。

この後、これら4つの課題について、令和6年度の実績と令和7年度の実績計画及び、目標値の進捗状況について各担当からご説明いたします。この計画が有効なものとなるよう皆様からご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 平野副総括管理栄養士)

初めに、1「生活習慣・社会環境の改善」の栄養・食生活・食育について、管理栄養士・平野がご説明します。

栄養・食生活は、こども達が健やかに成長し、人々が健康で心豊かな生活を送るために必要不可欠な営みです。市では、食育基本法に基づき、栄養・食生活・食育の項目を本市の「食育推進計画」として位置づけ、食育の推進に取り組んでおります。

具体的な施策への取組みについては、様式1の1ページからをご覧ください。

i 家庭における食育の推進は、主に子どもの保護者へ向けた取組みとなります。保育課ではICTシステムにより、給食だよりや給食写真の配信を行いました。学校給食共同調理場では献立表や給食だよりについて令和6年度までは紙の配布でしたが、7年度からICTシステムによる配信に変更になっています。子ども家庭センターでは、離乳食教室や幼児健診において講話や個別食指導を実施しました。

ii 学校、保育園などにおける食育の取組では、保育課、学校給食共同調理場で年齢に合わせた食育指導を行いました。

iii 地域における食育の推進では、健康スポーツ課では各世代に応じた健康教育を実施しました。糖尿病予防教室については、令和7年度から業務委託を行い、参加者を増やして実施予定です。子ども家庭センターでは、妊娠期における望ましい食生活の実現に向け、教室の際に講話や、母子手帳交付時に食事指導を実施しました。高齢者支援課では、食生活改善推進員と協力した健康教育や、栄養・食生活についての出前講座を行いました。各公民館では、こどもから高齢者まで、食に親しみ、料理を学ぶ機会を提供するため、世代に合わせた教室を実施しており、令和6年度は25回の教室を実施しました。

iv 生産から消費まで食のつながりを意識した食育の推進では、農政課が君津市認定農業者協議会の事務局として、小学生の米作り体験や、きみつ枝豆収穫祭を支援しました。また、グリーンツーリズム取組の促進として、収穫体験のPRや、パリオリンピックマラソン日本代表であり、君津市にゆかりのある選手に農産物を贈呈するなど、農産物のある市をPRしました。

v 食育を進める環境づくりでは、健康スポーツ課において市民自らが地域の食生活改善の活動を行うボランティア「食生活改善推進員」の養成教室を実施しました。また、推進員の定例会を実施し、知識や技術の向上を図りました。6月、11月の食育月間では、各課で周知を行いました。

また、市内の食育推進における連携を図ることを目的として食育担当者連絡会議を年2回実施しています。食育担当課で現状の把握、課題を共有し、課題解決に向けて連携を図っております。

目標項目については、様式2の1(1)をご覧ください。

適正体重を維持している者の増加の項目では、20歳以上の適正体重を維持している者の割合は悪化していました。肥満については、男性、女性ともに改善していました。一方20～30歳代女性のやせ、65歳以上の低栄養傾向のある者の割合は悪化しました。肥満だけでなく痩せに該当する方へも、生活習慣病予防健診事後の個別指導の実施や、適正体重を維持するための知識を啓発していくことが大切だと考えます。高齢者支援課で実施している出前講座等のフレイル予防事業は、6年度までは、小糸、上総の2圏域で行っていましたが、令和7年度から清和、小櫃を加えた4圏域に実施地域を広げる予定です。これにより、低栄養傾向のある者に対して、より広く働きかけを行っていきます。

児童・生徒における肥満傾向児の割合については、男子で横ばい、女子で改善しましたが、目標値まではまだ遠い状態です。令和7年度も養護教諭と連携して健診の事後指導を実施し、肥満の改善を図ります。

バランスの良い食事をとっている20～30歳代の方の割合は、悪化しています。対象の年代へ、生活習慣病予防健診の事後指導や、HP等により、望ましい食事をとることの重要性について啓発していきます。また、現在対象とならな

い若い世代へも、小・中学校の食育等をとおしてバランスの良い食事を自分で選ぶ力が持てるよう、働きかけを行っていきます。

朝食を欠食する者の割合の減少については、20～30 歳代は悪化、小学 5 年生、3 歳以上の子どもでは改善していました。朝食については、6 月の食育月間に合わせて、ホームページや SNS で情報を発信しました。

地産地消の推進に関しては、学校給食における君津市産食材の割合が改善しました。今後も、旬の君津市産食材を積極的に利用していく予定です。

栄養・食生活・食育については、以上です。

(事務局 長谷川管理調整係長)

続きまして「2. 生活習慣病の予防」の“がん”について、説明します。

がんについては、皆さんもご存じのとおり、日本人の死因の 1 位であり、約 2 人 1 人がかかる病気と言われていて、誰でもなりうる身近な病気であり、また、国保疾病別医療費のうち、入院の 20%、外来の 15%を占めています。

このようなことから、今回の計画では、がんを新たに重点施策として、早期発見・早期治療のため、それぞれのがん検診の受診率向上を図る取組みの強化等をおこなうこととなっています。

まず現状として、検診の受診率につきましては、コロナ前の令和元年度が 9.1%だったところ、コロナ禍の令和 2 年度に大幅に減少し 5.9%まで低下しました。その後は、徐々に回復傾向となり、令和 4 年度に 7.6%まで回復してからは伸び悩んでいる状況です。

受診率向上への具体的施策として、令和 6 年度は、胃がん検診において 40 歳以上の年齢 5 歳刻みの方 6,255 人にハガキによる個別通知を送付したところ、そのうちの 394 人の申し込みがあるなど、申込者数は大幅に増加しました。

胃がん検診以外の他の検診の受診者数が伸び悩む中、胃がん検診のみ受診者数が増加しており、受診率向上対策として効果があることを実績として得たため、令和 7 年度におきましても、乳がん検診のエコーの対象者及び大腸がん検診の対象者でこれまで検診を受けたことがない方に個別通知をおこなうなど、受診率向上を図っていきます。

なお、エコーと大腸がんを対象とした理由としましては、乳がん検診のエコーが 30 歳代の女性がメインの検診となっておりますので、若年層への検診受診を促進することを狙いとしています。次に大腸がん検診を対象とした理由としては、近年、日本では、大腸がんの罹患者数が大幅に増加傾向にあり、最近

の疫学研究の結果では、世界の中でも欧米諸国を超えてトップクラス（50 歳未満で世界 5 位、50 歳以上で世界 3 位）の増加率であり、大腸がんの死亡数の順位は男性で 3 位、女性では 1 位となっており、大腸がんの早期発見が、ますます重要となっているので、検診未受診者の方に受診勧奨をおこない、検診を受けてもらいたいと考え、実施しております。

また、これまでおこなってきた取り組みを更に強化するため、令和 6 年度からは電話での申し込み受付を開始、肺がん検診では予約不要の枠を設けることや、大腸がん検診のドライブスルー検診をおこなうなど、受診しやすい環境の整備にも努めております。

がん検診につきましては、今年度から有料化となったため、受診率の低下が懸念されているところではありますが、これまでの回復傾向にあった受診率を下げないためにも、また、計画で掲げた目標の達成のためにも、さまざまな施策をおこなってまいります。

「がん」については以上となります。

（事務局 原田主任保健師）

続きまして「2 生活習慣病の予防」の（2）（3）循環器病・糖尿病について説明します。

「循環器病」や「糖尿病」など、生活習慣病の発症予防としては、健診結果で危険因子を早期に把握し、危険性が低いうちから生活習慣の改善によって管理することが重要であるため、多くの方に健診を受けていただくことが入口となります。そのため受診率の向上を目指しつつ、受診された方へ対象となる保健事業において保健指導を実施しています。

循環器病・糖尿病に関する具体的な「取り組み状況」は、様式 1 の 5 ページになります。

i 健診受診率の向上として、健康スポーツ課、国保年金課、学校教育課において健診事業を実施しています。

健康スポーツ課では、40 歳未満の市民と生活保護受給者を対象に「生活習慣病予防健診」を実施しています。国保年金課では国保加入者を対象に「特定健診」及び「人間ドック」を実施しています。学校教育課では、小学校 4 年生、中学校 2 年生を対象に「生活習慣病予防健診」を実施しています。

特定健診では、より多くの方に受診していただけるよう AI を用いた受診勧奨や JA 健診への働きかけ、集団健診の受付方法の追加、健診日数や受診勧奨の発送回数を増やすこと等によって受診率向上を図っています。新型コロナウイルス

イルス感染症の流行以降、受診率は増加しており、新型コロナウイルス感染症の流行以前の受診率に近い受診率になっています。

ii 発症・重症化予防のための保健指導として、健診受診者に対しては、健診結果に応じて、それぞれに必要な面接相談・訪問指導・健康教育等の保健指導を行うことによって、生活習慣病の発症と重症化の予防に取り組んでいます。

iii 循環器病・糖尿病に関する啓発・健康教育として、健康講座や医療講演会を企画しております。令和 6 年度は健康講座を 12 回実施し延人数 277 人参加となっています。医療講演会は令和 7 年 2 月に玄々堂君津病院の西山医師に講師をお願いし、高血圧と腎臓病に関する講演をいただき、定員を上回る 104 人が参加されました。より多くの方に見ていただけるように講演を君津市公式 YouTube チャンネルで配信しています。

循環器病、糖尿病に関する進捗状況は様式 2 の 2 ページ、2-2 と 2-3 (No.35～37 と No.38, 39) をご覧ください。

2-2 (No.35～37) は循環器病の指標です。

高血圧の改善に関しては収縮期血圧の平均値が令和 6 年度の健診データを令和 4 年度と比べると、改善がみられています。

脂質高値の者の減少に関しては LDL コレステロール 160 以上の者が 18～39 歳は減少しており、40～74 歳は横ばいとなっています。

2-3 (No.38, 39) は糖尿病の指標です。

糖尿病の合併症（糖尿病腎症）の減少に関しては、糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数が 1 人増えています。

血糖コントロールの不良者の減少に関しては、ヘモグロビン A1c8.0%以上の者の割合が減少しています。

令和 4 年度の現状値に比べ大きく悪化した項目はありませんでした。しかし、糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数に関しては、今後高齢化の進行等により増加が続く可能性も考えられます。糖尿病発症リスクや重症化リスクのある方には、個別に受診勧奨を含めた保健指導に力を入れてまいります。

今年度もより多くの方々の健康意識が向上し、生活習慣病の発症予防と重症化予防の必要性の理解、適切な生活習慣が定着化していくよう努めてまいります。

(事務局 加藤副総括保健師)

続いての施策「こころの健康」について、保健師・加藤がご説明します。

様式 1 は、5 から 7 ページ、様式 2 は、2 ページ、3- (1) 自殺対策の推進になります。

まず初めに、「こころの健康」の施策については、平成 18 年に自殺対策基本法が施行され、社会全体として自殺者の減少を目指す取組みが重視されるようになりました。また、自殺対策基本法の改正（H28 年）により市町村に自殺対策計画の策定が義務付けられたことを受け、令和元年に実施した中間評価において、本計画の「こころの健康」の章を「自殺対策計画」と位置付けることとなりました。第 3 次健康きみつ 21 においても「自殺対策計画」を本計画に内包する形を継続しております。

様式 1 の 5 ページから 7 ページにあります通り、健康スポーツ課を含む 9 課において、自殺対策につながる取組みを進めております。健康スポーツ課の令和 6 年度の実績としましては、市民や教職員に向けたゲートキーパー養成研修や、人事課共催の職員向けゲートキーパー養成研修を実施し、悩みを抱える市民や職員へのかかわりについて学ぶ機会を作りました。関係各課の取組みとしては、各種相談対応をはじめ、相談窓口の周知、集いの場や交流の場の提供など、非常に多くの取組みを実施しております。

次に様式 2 の目標項目の進捗状況についてご説明します。目標項目は、自殺死亡率の減少としています。この自殺死亡率は、人口規模が小さい市町村ほど年ごとのばらつきが大きくなるため、第 3 次計画から直近 3 か年の自殺死亡率の平均値をとることとしました。これは、千葉県の上自殺対策計画と同じ採り方を採用しています。

令和 4 年度の現状値は「16.3 人」で、令和 6 年度の実績は「17.89 人」と増加してしまいました。令和 17 年度の最終目標値を「9.0 人以下」としており、まだ目標値には及びませんが、令和 2 年度は「21.04 人」令和 3 年度は「20.08 人」でしたので経年的には減少傾向にあります。引き続き取組みを進め、最終目標値に向け減少を目指してまいります。

最後に、令和 6 年の全国の小中高校生の自殺者数が 529 人と過去最多となりました。また、令和 8 年に施行される自殺対策基本法の改正では、こどもの自殺対策についてこども家庭庁の掌握事務と規定することや、関係行政機関、学校などとの連携を図りこどもの自殺防止に取り組むことなどが明記されています。

このように、子どもの自殺対策が緊急の課題となっているため、健康スポーツ課では今年度、児童生徒向けの自殺対策講演会を予定しております。昨年度、周西中学校区学校保健委員会において君津市の自殺対策についてお話をする機会をいただき、そのご縁により、君津高校の生徒向けの講演会を今年度実施することとなりました。

講師は昨年 7 月にも市民向けの講演会で講師を務めていただいたシンガーソングライターの悠々ホルン氏にお願いしました。

自己肯定感の低い、現代の子どもたちが、自分を肯定する気持ちをもってもら

えるよう、悩んだ時には相談しようと思ってもらえるような講演会にしたいと思っています。

今後も子どもの自殺対策に限らず、君津市の自殺対策を推進していくために、様々な機関と協力しあえる体制を構築していきたいと思います。

議長（永瀧会長）

以上で重点施策についての説明が終了しましたので、各分野の取組み状況や目標項目の進捗状況について、その他の項目でも構いませんので、質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

（潤米委員）

広報きみつ6月号にがん検診で早期発見早期治療という記事が載っていましたが今年度から有料化されたと聞いています。有料化すると受診率が下がってくるかと思うのですが、下がらないようにしていく工夫がありましたら教えていただきたい。

また、がん検診は予約制でやっていると聞いています。今年度有料化してからの予約状況からの進捗について教えてください。

議長（永瀧会長）

潤米委員からご質問がありましたが、事務局いかがですか？

（事務局 長谷川管理調整係長）

ご質問の件回答させていただきます。有料化をすることによって受診率の低下が懸念される件は、様々なところでやはりご指摘いただいております。受診率を向上させる取組みは、いろいろ試行錯誤しながらやらせていただいております。有料化した財限を活かして、受診勧奨を強化していきたいと思います。

今年度初めての取組みとしては、胃がん検診と肺がん検診のコラボ検診を始めました。また、予約忘れの方向けに、当日キャンセルの空いた枠に予約なしの方が受けられるような、キャンセル枠を設定するなどで、受診率を下げないような取組みを考えております。

今年度の進捗ですが肺がん検診については、1,559人となっております。昨年の予約者数が、1,769人だったので、肺がん検診は今年度有料とはなってないのですが、200人ほど予約は減っております。肺がん検診は、保健センターの午後は予約不要の枠としてやっておりますので、予約されてない方もいらっしゃるかもしれません。胃がん検診は、5月で予約を締め切っております、予約者数が1,247人。昨年は個別受診勧奨の効果もあり大幅に予約者数増えた1,956人と比

較すると予約の者数の落ち込みが激しいです。有料化の影響かと心配されておりますので、この点は来年度に向けて検討して行きたいと思います。乳がん検診は6月で予約締め切っておりまして、予約者数が3,316人。昨年度は3,570人ということで、こちらでも200人ほど予約者数が減っております。ここにつきましては、キャンセル枠を活用して、なるべく受診者数を落とさないような取り組みを、すぐにでもやりたいと思っております。

(齊藤卯女子委員)

胃がん検診っていうのは、毎年夏なんですよ。その時期を変えることができないのでしょうか。胃がん検診は食事だけでなく水分摂取も制限されます。この暑さの中での実施となると、危機感も覚えます。検診の時期をもうちょっとずらしてできないのでしょうか。

(事務局 長谷川管理調整係長)

ご指摘の通りで、今年もすでに6月から暑くなっております。熱中症も危険ということで、胃がん検診については、時期をずらせないか委託先とは相談はさせていただいております。ただ、どうしてもその委託先のバスの配車台数が決まっており、全県内でいろいろなところでやってる事業者なので、どこの市町村も暑い時期にがん検診を避けたいということで、涼しい時期に持ってこれない実情があります。ただ、健康スポーツ課で、熱中症対策もやっておりますし、熱中症の危険も年々高まっておりますので、なるべく涼しい時期にしたいという要望は、出していきます。昨年度要望が少し通りまして、今年度11月に1回だけ胃がん検診を入れることができました。全ての日程を、涼しい時期には持ってこれないかもしれませんが、少しずつちょっと涼しい時期移行したいと考えています。あとは、会場によってはエアコンのない会場もございます。そういった会場はなるべく早い時期にずらすなどの対策は、取っていかねばいけないなと思っております。すぐにすべて変えることは難しい状況ですが、委託先の事業者と協議してまいります。

議長（永畠会長）

他には何かございませんか。

(江澤委員)

令和7年2月13日に医療公演会を実施して、講演会終了後に講演の様子をYouTube 配信しているとのことですが、どのくらいの方が視聴しているのでしょうか。

各世代の応じた栄養食生活に関する健康教育として、高校生向けの食生活改善教室を行っているってことですが、週知の方法とその教室での指導の内容を教えていただければと思います。

議長（永瀧会長）

江澤委員からご質問がありましたが、事務局いかがですか？

（事務局 原田主任保健師）

医療講演会ですが、現在、4本の動画が市の公式YouTubeチャンネルで公開されています。令和3年度に玄々堂君津病院 総合腎臓病センター長の大崎先生にご講演をいただきました、「あなたの腎臓大丈夫？見逃されがちな「尿蛋白」が鍵だった」は、31,000回視聴されています。その他、糖尿病やコレステロールに関する動画があり（糖尿病の方は）約3,500回、（コレステロールの方は）約960回の視聴があり、多くの方々に見ていただいています。

先ほど6年度実施事業としてご説明した玄々堂君津病院の西山先生による医療講演会の動画は6月末に公開となったばかりでまだ2週間程度ですがすでに520回以上の視聴となっており、関心の高さがうかがえます。とても分かりやすくご説明いただいておりますので、委員のみなさまにもぜひご覧いただき、さらに周りの方へもお伝えしていただければと思いますと大変ありがたいです。

（事務局 武田副総括管理栄養士）

高校生向けの食生活改善教室について回答させていただきます。こちらの教室は、今回ご出席いただいております潤米委員が会長を務めます、食生活改善協議会の方々にご協力をいただいている教室となります。食生活改善協議会は、県と全国の協議会にも加入しておりまして、そちらの同協議会から補助金をいただいている教室になります。若者世代への教室ということで、ここ数年、青葉高校に入らせていただきまして、調理実習も含めて行っているものになります。食生活改善推進員の方々に、朝食や野菜摂取等の大切さを講話していただき、その後にバランスの良い食事の調理実習を行っていただいているところです。

議長（永瀧会長）

他にございませんか。

ないようですので、これで本日予定した全ての議事を終了します。

これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。

円滑な議事進行にご協力をいただきありがとうございました。

(司会 事務局 中村課長)

進行ありがとうございました。

続きまして、「4 その他」ですが、何かありますか。

— なし —

(司会 事務局 中村課長)

以上をもちまして、令和7年度君津市健康づくり推進協議会を終了させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。